

# 令和七年度（1A） 国語

※字数制限があるものに関しては、全て句読点等も一字に含みます。

一 次の【文章I】および【文章II】を読み、後の問一～問十に答えなさい。

## 【文章I】

何かを学んでいこうとするとき、「好き」という感覚ほど強い味方はない。一方、「嫌い」という感覚は、学びにブレーキをかける。好きなことはいくらでもできるが、嫌いなことはやりたくない、と。加えて、好きや嫌いという感覚は個人的な感覚だから、誰かに「私はリンゴが好きだ」と言ったとしても、「それは君が好きなだけ、僕はバナナが好きだ」と返される場合が少なくない。好き嫌いは何かをブロックしてひとりよがりな世界を生み出すことがあるのである。

しかし、内面で起き起こる好きや嫌いは、大目にしなければならない。それが人生をつくっていくのだから。だが何かを本当に学ぶためには、好き嫌いの感覚を、さしあたり停止して、どうして好きなのか、どうして嫌いなのかを正視しなければならない。矛盾していると思うだろう。しかし、数学の勉強が嫌いなら、どこが好きでどこが嫌いなのかを考えてみてほしい。考えることが、単なる好きや嫌いの感覚から距離を置くことを教えてくれるから。それが学ぶことの第一歩。今のうちにその術を身につけてほしい。①好きだから、嫌いだからで終わってはいけない。

学ぶためのもう一つのポイントは、全体を見ること。それと同時にどこか一点を見なければならない。全体だけを見ていても絶対に自分のものにはならない。これも【X】していると思うだろう。だがスポーツ想像すればわかりやすい。スポーツは単に肉体の問題ではない。例えば野球では、筋力を鍛えさえすればホームランを打てるわけではない。筋力だけでなく、身体全体を考え、何かポイントをつかむことでバッターとして成長できる。人はそれぞれ「癖」を持つていてるものだが、それを捨て、自分なりのポイントをつかむことが基本だ。

これは思考の基本である。人間がものを考えるとき、※<sub>1</sub>公理から出発する」とはありえない。全体の※<sub>2</sub>コンテクストをぼ

んやりと視野に入れながら、その中で手がかりを見つけて考えを進める。A=B、B=C、C=Aといったような論理は、考え抜いたあとで、他者に説明するために組み立てる表現だ。事件現場に立つ※<sup>3</sup>シャーロック・ホームズを想像してほしい。彼らは、現場全体を見ながら、頭の中ではそれまでに集めた証拠品のイメージや証言を繰り返していることだろう。全体を見ながら、どこかに特異点を見いだそうとしているのである。さまざまな要素があり、それらがどういう関係にあるのか、そしてそれらの関係がどう全体をかたちづくっているのかを見ていくのである。

②こうした思考は、数学でも国語でも、研究でもビジネスの現場でも変わらない。「文科系と理科系ではアタマの使い方が異なる」などと思い込んではならない。原則は同じなのだ。文章全体を見ていながら、どこかに必ず文章全体にかかるひつかりがあるはずだ。それをつかむ。そのポイントを自分なりに展開することで人間はものを考え始める事ができる。学校の勉強には正解が用意されている。皆さんが誤った答案を書けば、間違いを指摘される。だが皆さんに課されているのは、正解を知ることではなく、頭の働く方を学ぶことだ。この学びは、たんに知識を⑥タクワえることではなく、自分自身を変えていくことにほかならない。全体のコンテキストがあり、その特異点をつかんで全体をもう一回つくり直す。これは③自分の世界を自分でつくり直していく力でもある。

(小林康夫「学ぶ」との根拠) (『何のために「学ぶ」のか〈中学生からの大学講義〉』)

## 【文章Ⅱ】

勉強に苦労する。何のために苦労するのか？ いい大学に入るため？ そうじゃない。大学入試などで人間の価値は決まるない。◎カンジンなのは、大学に入つてから後のことだ。大学で何を勉強するか。社会に出て何を身につけるか。いい大学に入つて、いい会社に就職すれば将来は保証される——もう、そんな時代ではない。一生、勉強し続けなければ、先はないと思つたほうがいい。

I 、がんばつて志望校に合格することは大切だ。でも、それがゴールだとすぐれも思わないでほしい。クリアすべき第一関門でしかない。だから逆にいえば、その程度のことはとりあえずクリアしてほしい。

もう一つ、ぜひ言つておきたいのは、君たちの世代で「文系」「理系」という言葉を死語にしてほしい。僕は理学部を出た後に法学部に学士入学した。だから文系も理系も両方やつた。大学四年間は、文系・理系どちらかを選んで勉強したってかもしれない。でもそれは、たった四年間の話だ。

□、最先端の学問であればあるほど、④文系・理系なんて分け隔ては意味がない。脳科学を研究するには音楽のこともわからなければいけないし、哲学だつてもはや脳科学を無視して研究することはできないだろう。

この世界を理解するのに文系も理系もない。そんなのは、⑤便宜的に設けられた壁にすぎない。□、大学を卒業して一〇年もたつて、「私は文系ですか」「理系ですか」なんて言い訳しているのは、※<sup>4</sup>ちゃんちやらおかしい。

学ぶことは苦労であると同時に喜びもある。そして学ぶ喜びは、脳が感じる喜びの中で、最も深い喜びなのだ。だから※<sup>5</sup>ドーパミンがたくさん出る。

脳のうまい使い方とは、できるだけドーパミンを出すこと。どうすればいいか。自分にとって無理めの課題を設定して、それをクリアすること。【Y】感は持たない。模試の判定や偏差値は、他人と比較するための物差しではなく、自分の進歩の目安として使う。そして情熱を持って苦労する。

IV 忘れなければ、未来は明るい。今この国に足りないもの、それは理想と情熱だ。だから⑥ギギを乗り越えられない。この国にはよせん、※<sup>6</sup>オバマ大統領みたいな人は出ない、と諦めてはいないうだろか。⑤そんなことはない。

理想と情熱さえあれば、政治家だろうが、企業家だろうが、科学者だろうが、小説家だろうが、素晴らしい人物に絶対なる。理想も情熱もなくしてしまった、だらしない大人たちに任せておくことはない。ぜひ、はちきれんばかりの理想と情熱をもつて、君たちがこれから世界を切り開いていくつてほしい。

(茂木健一郎「脳の上手な使い方」(『何のために「学ぶ」のか〈中学生からの大学講義〉』))

(※語注)

1公理……一般に通ずる道理。

2コントекスト……文脈、背景、状況、前後関係などの意味を持つ言葉。

3シャーロック・ホームズ……シャーロック・ホームズシリーズ（小説）の主人公。探偵。

4ちゃんちゃんおかしい……問題にならないほどばかりしい。

5ドーパミン……神経伝達物質の一つ。快く感じる原因となる脳内報酬系の活性化において中心的な役割を果たしている。

6オバマ大統領……アメリカ合衆国第四十四代大統領。

問一 傍線部ⓐ～ⓔの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 【文章Ⅱ】中の空欄 I IV に当てはまる言葉として適當なものを次の（ア）～（オ）よりそれぞれ一

つ選び、記号に丸をつけなさい。ただし、同じ記号を一度用いてはいけない。

- （ア）それさえ      （イ）むしろ      （ウ）まるで      （エ）ましてや      （オ）もちろん

問三 傍線部①「好きだから、嫌いだからで終わってはいけない」とあるが、その理由を説明している一文を【文章Ⅰ】から抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問四 空欄【 X 】【 Y 】について、後の問い合わせに答えなさい。

(1) 【 X 】にあてはまる語を【文章Ⅰ】から二字で抜き出しなさい。

(2) 【　】にあてはまる語として適當なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸をつけなさい。

- (ア) 期待 (イ) 孤独 (ウ) 劣等 (エ) 達成

問五 傍線部②「こうした思考」の説明として適當なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸をつけなさい。

(ア) やまざまな要素、それらの関係性がどう全体に繋がっているかを他者と共に検証することで、思考が構築されてしまうこと。

(イ) 全体のコンテクストを把握し、それを基にすることでのみ、やまざまな要素、関係性を理解することができるということ。

(ウ)  $A = B$ 、 $B = C$ 、 $C = A$ といったような理論で説明することで、他者が理解しやすくなり、互いに全体像が明確になるとこいつこと。

(エ) 人間がものを考えるときは、初めから道理に当てはめるのではなく、やまざまな要素、関係性から全体を形成していくこと。

問六 傍線部③「自分の世界を自分でつくり直していく力」とあるが、そのために必要なものを【文章I】から十一字で抜き出しなさい。

問七 傍線部④「文系・理系なんて分け隔ては意味がない」とあるが、その理由を【文章I】から五字で抜き出しなさい。

問八 傍線部⑤「そんなことはない」とあるが、その理由として適当なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸をつけなさい。

（ア）他人と比較するのではなく、理想と情熱をもつて学ぶことで、未来を切り開く人物になれると考えているから。

（イ）自分にとって無理そうな課題を設定し、それをクリアすることを繰り返すことで脳が成長すると考えているから。

（ウ）ドーパミンを出すことで脳を活性化し、それによって新たな素晴らしい人物を輩出することができると考えているから。

（エ）理想と情熱を諦めることなく持つことで、脳が幸せを感じ、苦労を惜しまない人材が多くなると考えているから。

問九 次の①～④の内容は【文章I】【文章II】の主張にあてはまるかどうか。適当な組み合わせを、次の（ア）～（エ）より

それぞれ一つ選び、記号に丸をつけるなさい。ただし、同じ記号を二度用いてはいけない。

- ① 学校での学びは正解が用意されているが、ポイントは正解を知ることではない。
- ② 「学ぶ」とは、苦労することであると同時に喜びを感じるものもある。
- ③ 「好き・嫌い」という感覚は、理想と情熱に繋がり、自分の世界を広げていく。
- ④ 「学ぶ」とに対して、文系・理系というスタンスを持つ必要はない。

（ア）【文章I・II】の両方にあてはまる  
（イ）【文章I】にのみあてはまる

（ウ）【文章II】にのみあてはまる  
（エ）【文章I・II】の両方にあてはまらない

問十 次の会話文は、【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】を読んだ生徒が、その文章について話し合っている場面である。会話文中の（ ）

に最もあてはまる表現を【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】から十字で抜き出しなさい。

生徒A——【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】は、両方とも学ぶことについて言及されているけど、それぞれ観点が違っているね。

生徒B——確かにそうだね。【文章Ⅰ】では、「学ぶ」とは自分なりのポイントをつかむことが大切だと述べられているけど、

一方で【文章Ⅱ】では、「学ぶ」とは喜びでもあると述べられているよ。

生徒C——さうまさに考え方はあるけど、Aさんはどの考え方と共感した？

生徒A——私は【文章Ⅰ】の考え方に関心を持ったよ。私たちに求められているのは（ ）ことであって、学校の勉強のように必ず正解を知ることだけでなく、知識を身につけるだけでもないという考え方と共に感したよ。

## 二 次の文章を読み、後の問一～問九に答えなさい。

これも今は昔、<sup>※1</sup>絵仏師良秀といふありけり。家の隣より火出で来て、風おしおほひて責めければ、逃げ出でて、大路へ出でにけり。人の書かする仏もおはしけり。また衣着ぬ妻子なども、A<sup>※2</sup>ながら内にありけり。<sup>①</sup>それも知らず、ただ逃げ出でたるを<sup>※3</sup>事にして、向ひのつらに立てり。見れば、すでに我が家に移りて、煙、炎くゆりけるまで、おほかた向ひのつらに立ちて眺めければ、あさましき事とて、人ども来とぶらひけれど、騒がず。「いかに」と人言ひければ、向ひに立ちて、家の焼くるを見て、うちうなづきて、時々笑ひけり。「あはれ、<sup>②</sup>しつる<sup>※3</sup>せうとへかな。<sup>※4</sup>年<sup>う</sup>はわろく書きけるものかな」と言ふ時に、とぶらひに来たる者ども、「<sup>③</sup>はいかに、かくては立ち給へるぞ。B<sup>※5</sup>あさましき事かな。<sup>※6</sup>物の憑き給へるか」と言ひければ、「<sup>※6</sup>何<sup>なん</sup>条物の憑くべきぞ。年<sup>う</sup>不動尊の<sup>くわえん</sup>火焰を悪しく書きけるなり。今見れば、<sup>③</sup>かうこそ燃えけれど、心得つるなり。これこそ<sup>④</sup>せうとへよ。<sup>⑤</sup>」の道を立てて世にあらんには、<sup>※8</sup>仏だによく書き奉らば、百千の家も出で来なん。

※<sup>9</sup> わたうたちこそ、させん能もおはせねば、※<sup>10</sup> 物をも惜み給へ」と語ひて、⑥あき笑ひてこそ立てりけれ。その後にや、良秀が※<sup>11</sup> よぢり不動とて、今に人々めであへり。

(『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀家を焼くるを見てよろいだる事」)

(※語注)

1 絵仏師……仏像を書くことを職業にするゝ人。

2 事にして……よこゝににして。

3 せうとく……もうけもの。

4 年うる……今まで。これまで。長年。

5 物の憑き給へるか……怪しげなものでものり移りなさつたか。

6 何条……どうして。

7 不動尊……不動明王。

8 仏だによく書き奉らば……仏ぞえ立派に書いて差し上げたなれば。

9 わたうたち……一人称代名詞。お前、お前ら。

10 物をも惜み給へ……物を惜しみなさるのだ。

11 よぢり不動……火炎の曲線が写実的に描けている不動尊。

問一 二重傍線部 A 「やながら」、B 「あさましき」の解釈として適当なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、それぞれ記号に丸をつけなさい。

- A 「やながら」 （ア） まるで （イ） やはり （ウ） どうして （エ） そのまま  
B 「あさましき」 （ア） あきれる （イ） 素晴らしい （ウ） 腹立たしい （エ） 偉そうな

問二 傍線部①「それ」が指す内容を説明した次の文章の空欄 I 、 II に当てはまる語を本文から抜き出して答えなさい。なお、 I は七字、 II は五字で答えること。

I や II がまだ家の中にいること。

問三 傍線部②「しつるせうとくかな」は誰の発言か。適当なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸をつけなさい。

- (ア) とぶらひに来たる者ども (イ) 仏 (ウ) 良秀 (エ) 妻子

問四 傍線部③「かうこそ燃えけれど、心得つるなり」とあるが、燃え方が分かった良秀はどうのような行動をとったか。本文中から十五字以内で抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問五 傍線部④「せうとく」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで答えなさい。

問六 傍線部⑤「」の道とは何を指しているか。本文中から三字で抜き出して答えなさい。

問七 傍線部⑥「あざ笑ひてこそ立てりけれ」について、後の問い合わせに答えなさい。

(1) そのような行動をとった理由として適當なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸をつけなさい。

(ア) 火事によつてすべてを失つた良秀の発言が、あまりに常識から外れていたから。

(イ) 自分の芸術観を理解できない凡人に対して、皮肉な態度を取りたかつたから。

(ウ) 周りの人にはかにされないよう虚勢を張ることで、自尊心を保ちたかつたから。

(エ) 失つた物を惜しむ考え方は仏道にそぐわないため、平気な様子を示したかつたから。

(2) 「あざ笑ひてこそ立てりけれ」の文末は、「係り結び」によつて変化している。このように文末変化が認められるものとして、適當なものを次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸をつけなさい。

(ア) 多く候ふなる、ある限り見せ給へ。

(イ) かくいちはやきみやびをなむしける。

(ウ) かなしくて、人知れずうち泣かれぬ。

(エ) 初心の人、二つの矢を持つことなけれ。

問八 この文章は、鎌倉時代に成立した説話集の『宇治拾遺物語』におさめられている。同じジャンルの作品を次の（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸をつけなさい。

（ア）枕草子 （イ）今昔物語集 （ウ）古今和歌集 （エ）徒然草

問九 本文の「絵仏師良秀家を焼くるを見てよう」が事」を基にした作品に、芥川龍之介の『地獄変』がある。芥川龍之介の作品でないものを（ア）～（エ）より一つ選び、記号に丸をつけなさい。

（ア）羅生門 （イ）鼻 （ウ）こころ （エ）杜子春

三次の漢字、慣用表現、四字熟語に関する後の一～三に答へなさい。

問一 ①～⑤の傍線部のカタカナにあてはまる漢字を、次の（ア）～（ウ）よりそれぞれ一つ選び、記号に丸をつけなさい。

① 国民の権利を~~オカ~~すことは許されない。

- （ア）犯 （イ）冒 （ウ）侵  
② 父も母も、役場にツトめている。  
（ア）勤 （イ）務 （ウ）努

③ 鏡にウツる姿を見て、心を弾ませる。

(ア) 写 (イ) 映 (ウ) 移

④ 国家の安全ボショウ政策を定め、有事に備える。

(ア) 保証 (イ) 保障 (ウ) 補償

⑤ 専攻する学問をツイキユウし、知見を深める。

(ア) 追求 (イ) 追究 (ウ) 追及

問二 ①～⑤の（ ）にあてはまる漢字一字を入れ慣用表現を完成させなさい。

- ① 私たちは小さい頃から仲が良く（ ）が置けない間柄だ。
- ② 彼の活躍は飛ぶ（ ）を落とす勢いがある。
- ③ すづめの（ ）ほどのお小遣いでは、欲しいものも買えない。
- ④ 友達にも断られて、取り付く（ ）もない。
- ⑤ 長年の苦労がついに（ ）を結び、目標を達成した。。

問三 （ ）には、二つとも漢数字が入る。あてはまる漢数字を一字ずつ入れ、四字熟語を完成させなさい。（完全解答）

- ①（ ）日（ ）秋
- ②（ ）人（ ）色
- ③（ ）載（ ）遇

④ ( ) 客 ( ) 来  
⑤ 海 ( ) 山 ( )

問題は以上です。

# 模範解答

国語							
問題番号	答の欄		採点欄	問題番号	答の欄		採点欄
問一	(a) きた	2		問二	I 人の書かす	2	
	(b) 蓄	2			る仏		
	(c) 肝心	2			II 衣着ぬ妻子	2	
	(d) べんぎてき	2			問三 アイウエ	2	
	(e) 危機	2			問四 うちうなづ	2	
	I アイウエオ	2		問五	しょうとく	2	
	II アイウエオ	2			絵仏師	2	
	III アイウエオ	2			(1) アイウエ	2	
	IV アイウエオ	2			(2) アイウエ	2	
	最初 考えること	3			問八 アイウエ	2	
問四	(1) 矛盾	2		問九	アイウエ	2	
	(2) アイウエヨ	2			① アイウ	2	
問五	アイウエヨ	2			② アイウ	2	
問六	頭の働きさせ				③ アイウ	2	
	方を学ぶこと				④ アイウ	2	
	と				⑤ アイウ	2	
問七	原則は同じ	3		問一	氣	2	
問八	アイウエ	2			鳥	2	
問九	① アイウエ	2			涙	2	
	② アイウエ	2			島	2	
	③ アイウエヨ	2			実	2	
	④ アイウエ	2			一日千秋	2	
問十	自分自身を			問二	十人十色	2	
	変えている	3			千載一遇	2	
二 間一	A アイウエヨ	2			千客万来	2	
	B アイウエ	2			海千山千	2	

問三(完全解答)

受験番号		名前		得点	
------	--	----	--	----	--